



2019年 人権一口講座



「人生を長く楽に生きる」

「恵まれない境遇で育った毒母への同情と恨み」を語ったニユース番組を先日見ました。家族との暮らしの中で、「親を大切にしなければならぬ、親には感謝すべきだ、親孝行すべきだ！」と強く抱いている人は多いと思います。

しかし、私はニユースを見た後に、「親子といえども同じ考えや価値観を持った人間ではないし、個人であるのだから、一緒に考えを持ってと言っても難しいだろう。相性もあるだろうし、精神的に未熟なまま親になった人の元で育った子どもは、本当に親を大切にしなければならぬのだろうか。悩むことあるのではないか。」と考えたのです。

ニユースに登場した人は「親はずっと一緒に暮らしたいと懇願するが、親と離れたいと考える私は冷たいのだろうか、おかしいのだろうか？」とまで悩んでいました。家族と一緒に過ごすのが心地良いと感じる人は、私は「あー幸せな人だな。」と思います。でも、「家族」と一緒にいることが幸せでないと感じる人がいるという事実を知ってほしいのです。「親に恩返しをしなければならない」というのは、個人の思いであって、決して押し付けてはならないと思うのです。

家族との暮らしの中で、子どもが大人になり自立し一人で生きていけるようになった時、十分子育ては成功したと言えるでしょう。思うに親の責務として、社会人として通用する人間性や人格を身に着けた子どもを社会に送り出すことがあるのではないのでしょうか。そのような中であっても、過度な期待を子どもに課してはいけないうし、自分たちの理想を無理に押し付けてはならないと思うのです。

誰かが言っていました。「人生を長く楽に生きるコツは、ありのままにゆったりと過ごすのが一番」だと。「親との生活で苦しんだ人」の話から最後に私が考えたこと。

それは、

「あなたの人生はあなただけのものです。どうか皆さん、争いごとなく平和にゆったりと過ごせますように。」

(熊本市ふれあい文化センター広報紙「かけはし」九月号より)



短いメッセージ 見つけた やさしくする人 目の前に
明日は自分が する番だ

熊本市・熊本市教育委員会・熊本市人権啓発市民協議会のカレンダー 託麻中学校 三年 野口歩夢さんの作品より